



登園、お帰りの時間は冷え込む日もあり、早いもので冬の訪れを感じる季節になりました。お散歩に行くと色づいた葉がたくさん落ちており、色とりどりの葉っぱに子どもたちは興味津々です。また、インフルエンザの流行も始まる時期ですので、うがい・手洗いを徹底しお子さんを守っていききたいと思います。11月もたくさん遊び、寒さに負けない体づくりをしていきましょう。

インフルエンザが流行する季節になりました

新型コロナウイルスの感染者数は減少が続いていますが、今年は冬にかけてインフルエンザが例年より早く流行し、新型コロナとの同時流行が懸念されているようです。

今シーズン、インフルエンザ感染者が増えるとみられる理由は、インフルエンザはこの2年は日本国内で流行しなかったため、感染してインフルエンザの免疫を獲得している人の割合が少なくなっていることや、日本とは季節が逆でインフルエンザの流行の時期が半年ずれる南半球・オーストラリアでは今年、コロナが拡大する前と同じ程度のインフルエンザの流行が2年ぶりに起きたからだと言われています。

お子さまが感染した場合は必ず保育園にご連絡をしていただきますようお願いいたします。保育園では、引き続きこまめなうがい手洗い、換気などを行っていききたいと思います。



嘔吐物の処理方法について



10月後半から3月にかけて、突然吐いたり下痢をしたりするおなかの風邪が流行します。原因の多くはノロウイルスやロタウイルスによる感染症で、感染力が強く毎年のように流行します。

保育園で嘔吐物や下痢、血液等が付着した衣類や布団類は、職員や他のお子さまへの感染予防のため洗わずにそのままビニール袋に入れてお持ち帰りいただくことになっております。ご了承ください。

寒くなってきても、動きやすい洋服を！

厚手の衣服は熱がこもってしまうだけでなく、汗をかいて体が冷え風邪をひいてしまうこともあります。下記の衣服は避けるようにし、薄手の衣服や、上着についてはフードのないウィンドブレーカーのようなものでお願いいたします。

×裏起毛 ×フリース素材 ×中綿やダウンの上着



いい歯の日

11月8日は「いい歯の日」です。きれいでしょうぶな歯を保つには幼児期のケアが大切ですが、歯磨きは大人でもむずかしいものです。みがき残しがないように、ご家庭では仕上げみがきをお願いします。

また、6歳以下の子どもが歯ブラシをくわえたまま転倒し、のどをついてしまうケースも多数報告されているそうです。事故から守るために、

- ①歯磨きをする時は床に座る
- ②子ども用歯ブラシは喉突き防止カバーなど安全対策がされているものを選ぶ
- ③歯ブラシだけでなく箸やフォークなどの日用品も口に入れたまま歩かせない。

以上を守るように気をつけましょう。



感染症発生状況 (9月~10月)

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・手足口病
- ・ヒトメタニューモウイルス
- ・ヘルパンギーナ
- ・RSウイルス
- ・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)



■その他、咳が出ていたり、発熱の園児が多くいます。

■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。(「ヒトメタニューモウイルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RSウイルス」の欄を参照してください)



新型コロナウイルス感染予防のためのお願い

子どもの体調が普段と違う日やご家族に体調不良の方(発熱、倦怠感など)がいる場合は、お休みしていただくようお願いいたします。

お子さまやご家族が検査を受ける又は受けた場合や、濃厚接触者となった場合は、感染を広げないために速やかに保育園までご連絡をお願いします。

検査結果が陰性でも、登園は解熱後24時間たってからとなります。